

4月の果実の見通し

令和4年3月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
いちご類	栃木 福岡 静岡 佐賀	5055	95%	4604	1016	高い	1089	0	0.0%	本年産の3番果は大きな山にはならない見通し。関東産地は上中旬がピーク。九州産地は中下旬の見込み。気温が高いため小玉の発生が増え平パックが今までより少なくなる。品質に特化した出荷となる。
メロン類	熊本 茨城	1172	105%	978	662	並み	655	1	0.1%	3月下旬から熊本産春メロンの出荷が始まり、4月から徐々に増加傾向に入る。本年産は平年並みに落ち着き、4月下旬から5月上旬にかけてピーク。茨城産「オトメ」は若干早くピークを迎える。アールスメロンは天候が安定したことから作柄は良く、3月中下旬に冬系が終了を迎え、4月は春系品種に切り替わり標準的な大きさになり上位等級の比率が高くなる。コロナ禍の影響が業務需要を圧迫していたが回復の兆しはまん延防止等重点措置が解除されたことで引き合いが強くなることを期待したい。
すいか類	熊本 茨城	3255	105%	2370	326	並み	327	-	-	大玉すいかは出遅れ、小玉すいかは若干早い展開。4月末～5月の連休に向け各産地増量する見込み。輸入果実が安定しないこと、柑橘が少ないことを受けてすいかの売り場は作りやすいと見込む。4月の販売は足踏みしないよう販売拡大を進めていく。
マンゴー	宮崎	59	100%	59	4370	並み	3606	-	-	主力宮崎産は天候良く、生育順調。開花は早かったが出荷は平年並み。増量に向かうペースは前年並みで、4月入荷量は市場集約で前年並みの見込み。本年のピークは4月下旬頃の予定。鹿児島産も出荷量は平年並み。マンゴー総体の入荷量は前年とほぼ変わらず。3月時点ではそれほど入荷は増えず、価格は前年並みで推移。4月は増量に伴い引合い、相場は強めの展開が予想されるが。消費回復は「母の日」等のギフト需要の高まりを期待したい。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果㈱)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)